

公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構第26回定例理事会議事録

I. 日 時 令和4年11月30日（水） 13時00分～15時05分

II. 場 所 トライエッジ御茶ノ水会議室及びWeb会議システム

III. 出席者

理 事 栗原 敏（議事録作成者），江藤一洋，齋藤宣彦，高木 康
齋藤隆史，三谷昌平，清水貴子，河野文昭（Web），新田 浩
伊藤俊之（Web），石田達樹，仁田善雄，堀 裕（Web）
山口育子（Web），横手幸太郎（Web），別所正美（Web）
釜范 敏（Web），柳川忠廣（Web）

監 事 村田貴司

陪 席 葛西一貴

IV. 議 題

1. 審議事項

- 第1号議案 共用試験実施機関の指定申請について
- 第2号議案 公的化後の歯学系共用試験概要等について
- 第3号議案 委員会組織の見直しについて
- 第4号議案 職員給与規程の一部改正（案）について

2. 報告事項

- (1) 歯学系 CBT の公的化に向けての対応状況について
- (2) 歯学系 Pre-CC OSCE の公的化に向けての対応状況について
- (3) 歯学系 Post-CC PX の課題点と対応状況について
- (4) 医学系 CBT の公的化に向けての対応状況について
- (5) 医学系 Pre-CC OSCE の公的化に向けての対応状況について
- (6) 医学系 Post-CC OSCE の課題点と対応状況について
- (7) 共用試験広報・国際連携推進委員会報告
- (8) 事務所移転検討について
- (9) 商標登録について
- (10) 理事長及び副理事長の職務執行状況報告について
- (11) 予算執行状況について
- (12) 共用試験成績について

3. 配付資料

資料番号なし	第8回臨時理事会議事録（案）
資料1	共用試験実施機関の指定申請について
資料2-1	公的化後の歯学系共用試験概要（案）【2024(R06)から適用】
資料2-2	OSCE の実施について（案）（公的化後の歯学系 OSCE）
資料2-3	臨床実習終了までに修得すること（歯学系）（案）
資料3	委員会組織の見直しについて
資料4	職員給与規程の一部改正（案）新旧対照表
報告資料1	歯学系 CBT 公的化に関する検討状況
報告資料2	歯学系臨床実習前 OSCE の公的化に向けての対応状況と検討課題について
報告資料3	歯学系 PX 実施管理委員会報告（2022 年 11 月）
報告資料4	医学系 CBT 公的化に向けての進捗報告
報告資料5	医学系臨床実習前 OSCE 報告
報告資料6	医学系臨床実習後 OSCE 報告
報告資料7	共用試験広報・国際連携推進委員会報告
報告資料8	事務所移転検討資料
報告資料9	商標登録について
報告資料10	理事長及び副理事長の職務執行状況報告
報告資料11	正味財産増減計算書（令和4年4月1日から10月31日）
報告資料12-1	共用試験2022 医学系 CBT 結果表
報告資料12-2	共用試験2022 歯学系 CBT 結果表
報告資料12-3	共用試験2022 医学系臨床実習前 OSCE 結果表
報告資料12-4	共用試験2022 歯学系臨床実習前 OSCE 結果表
報告資料12-5	共用試験2021 医学系臨床実習後 OSCE 結果表
報告資料12-6	共用試験2021 歯学系 Post-CC PX 結果表

V. 議事の経過の要領及び結果

栗原議長から定足数の確認について付議、松尾総務部長から理事の現在数19名のうち、18名（うち、Web出席者8名）が出席し、機構定款第35条第1項の規定による理事会の定足数については、成立要件を満たしている旨説明があった。

続いて、栗原議長から第8回臨時理事会（令和4年8月31日開催）の議事録（案）の確認について付議、審議の結果、全員異議なく、原案どおり確認された。

引き続き、栗原議長から議事録署名人の選出について付議、機構定款第36条第2項に基づき、理事長及び出席した監事を議事録署名人とした。

1. 第1号議案 共用試験実施機関の指定申請について

栗原議長から本件について付議、石田事業部長から資料1「共用試験実施機関の指定申請について」に基づき説明があり、審議の結果、全員異議なく、原案どおり承認された。

2. 第2号議案 公的化後の歯学系共用試験概要等について

栗原議長から本件について付議、葛西委員長から資料2-1「公的化後の歯学系共用試験概要(案)【2024(R06)から適用】」、資料2-2「OSCEの実施について(案)(公的化後の歯学系 OSCE)」、資料2-3「臨床実習終了までに修得すること(歯学系)(案)」に基づき説明があり、審議の結果、全員異議なく、原案どおり承認された。

なお、審議の過程において、オブザーバーとして参加している文部科学省医学教育課及び厚生労働省歯科保健課から以下の助言があった。

(文部科学省医学教育課)

資料2-2の評価体制について、各試験室に外部評価者1名、内部評価者1名を配置となっているが、医学生共用試験部会の意見書では、各試験室に外部評価者1名を配置する体制は、令和7年度までの検討事項とされている。コストの観点も含め総合的な検討が必要ではないか。

(厚生労働省歯科保健課)

2024年6月～9月の共用試験は旧共用試験として実施とされているが、国家試験の受験要件とはならないものの、歯科医業を行うことを明確にした上で臨床実習ができるというメリットがあるため、新共用試験として実施可能と考えている。

3. 第3号議案 委員会組織の見直しについて

栗原議長から本件について付議、齋藤副理事長から資料3「委員会組織の見直しについて」に基づき説明があり、今後、CBTとOSCEの委員会構成の在り方について検討を進めることが承認された。

4. 第4号議案 機構職員給与規程の一部改正(案)について

栗原議長から本件について付議、迫田事務局長から資料4「職員給与規程の一部改正(案)新旧対照表」に基づき説明があり、審議の結果、全員異議なく、原案どおり承認された。

VI. 報告事項

1. 歯学系 CBT の公的化に向けての対応状況について

齋藤理事から報告資料1「歯学系 CBT 公的化に関する検討状況」に基づき報告があった。

2. 歯学系 Pre-CC OSCE の公的化に向けての対応状況について

葛西委員長から報告資料2「歯学系臨床実習前 OSCE の公的化に向けての対応状況と検討課題について」に基づき報告があった。

3. 歯学系 Post-CC PX の課題点と対応状況について

新田理事から報告資料3「歯学系 PX 実施管理委員会報告(2022年11月)」に基づき報告があった。

4. 医学系 CBT の公的化に向けての対応状況について

三谷理事から報告資料4「医学系 CBT 公的化に向けての進捗報告」に基づき報告があった。

5. 医学系 Pre-CC OSCE の公的化に向けての対応状況について

伊藤理事から報告資料5「医学系臨床実習前 OSCE 報告」に基づき報告があった。
報告の後、山口理事から以下の発言があった。

公的化に向けて業務量が増えている。認定標準模擬患者の派遣について、機構に直接派遣要請があった場合と COML に派遣要請があった場合の業務の整理がなされていない。COML も大学等との調整で手一杯の状況にある。機構はかなりの人員増が必要になると思う。

6. 医学系 Post-CC OSCE の課題点と対応状況について

伊藤理事から報告資料6「医学系臨床実習後 OSCE 報告」に基づき報告があった。

7. 共用試験広報・国際連携推進委員会報告について

三谷理事から報告資料7「共用試験広報・国際連携推進委員会報告」に基づき報告があった。

8. 事務所移転検討について

迫田事務局長から報告資料8「事務所移転検討資料」に基づき報告があった。

9. 商標登録について

迫田事務局長から報告資料9「商標登録について」に基づき報告があった。

10. 理事長及び副理事長の職務執行状況報告について

江藤副理事長から報告資料10「理事長及び副理事長の職務執行状況報告」に基づき報告があった。

11. 予算執行状況について

松尾総務部長から報告資料 1 1 「正味財産増減計算書（令和 4 年 4 月 1 日から 1 0 月 3 1 日）」に基づき報告があった。

12. 共用試験成績について

仁田研究部長から報告資料 1 2－1 「共用試験 2 0 2 2 医学系 CBT 結果表」、報告資料 1 2－2 「共用試験 2 0 2 2 歯学系 CBT 結果表」、報告資料 1 2－3 「共用試験 2 0 2 2 医学系臨床実習前 OSCE 結果表」、報告資料 1 2－4 「共用試験 2 0 2 2 歯学系臨床実習前 OSCE 結果表」、報告資料 1 2－5 「共用試験 2 0 2 1 医学系臨床実習後 OSCE 結果表」、報告資料 1 2－6 「共用試験 2 0 2 1 歯学系 Post-CC PX 結果表」に基づき報告があった。

以上をもって議事は全て終了し、議長は 1 5 時 0 5 分閉会を宣し、解散した。

令和 4 年 1 1 月 3 0 日

議 長 栗 原 敏 ⑩

議事録署名人 村 田 貴 司 ⑩